

第 67 回国民体育大会
ぎふ清流国体トライアスロン競技
(岐阜県木曾三川公園特設会場)

派 遣 報 告

日 時 : 10 月 6~7 日 (土・日)
スタート : 成年男子 9 時 30 分・女子 12 時 15 分
参加者数 : 成年男子 47 人・女子 44 人
距 離 : スタンダード (スイム 1.5km・バイク 40km・ラン 10km)
結 果 : 男子 9 位 (1 時間 58 分 25 秒)
女子 14 位 (2 時間 20 分 53 秒)

国体トライアスロン競技 広島県選手団 (監督 1 名・選手 2 名)

岐阜国体競技へ行ってまいりました。

監督として広島県選手団の一員として戦ってまいりました。

選手たちは極限の中、最高の力を発揮し、選手たちが愛おしく感じるほどがんばってくださいました。

選手 2 名の心あるレースレポートをご覧ください。

今後とも、競技トライアスロンの選手強化においては、会員の皆様のご理解とご協力、そして「まごころ」をよろしく願い申し上げます。

国体トライアスロン競技

監督 福元哲郎



ぎふ清流国体レポート 二分陽子

広島代表（ふるさと選手）として初国体に挑戦してきました。トライアスロン強化のために、鳥取へ転勤して早2年が経ちます。離れて気づく広島の良さや、いつも応援を下さる方々に恩返しをしたいという気持ちが強くあったので広島代表として挑戦を決めました。

壮行式に参加して、国体へ出場するんだなーと実感しました。紅葉ジャージを着て出場選手みんなで頑張ろう！エールがあったり楽しい壮行式でした。広島代表としてやってやるぞー！という気持ちになりました。国体に向けては、鳥取代表の選手と実践的な練習を繰り返し行いました。同じ目標を持った選手と一緒に練習できることは刺激にもなり、励ましあい楽しく練習ができました。

岐阜へは金曜日にマイカーで移動しスイム練を行い最終刺激をいれました。前日に監督と原選手に合流し、試泳やコース下見を行いました。午後からはウエット、レースウェア、バイク、ヘルメットのロゴマークが入念にチェックされ私はウエットの文字をマジックで消す羽目になりました。国体のルールがあるようなので従うしかないです。開会式までの空き時間を利用して、原選手にストレッチポールの良さをレクチャーしたり楽しい時間を過ごせました。ミーティングでテツロー監督より『思いっきりレースを楽しんでくれればいい！失敗を恐れることなく挑戦してほしい』と熱いアドバイスをもらい、自分の力を出し切ろう！そして諦めないレースをしよう！と決めました。

当日は快晴で秋の清々しい風が吹いていました。男子が先のスタートだったためレース観戦をしながらアップを行いました。原選手の健闘ぶりに力をもらいました。

そして女子のスタート！レースNOと呼ばれ、スタート地点までの移動していると、少しの段差にこけてしまいました。恥ずかしかったですが、レース中でなくて良かったと苦笑。ダイブスタートだったので上手くスタートできるか不安もありましたが思いっきり飛び込みました。だんだん先頭から離されている感じはありましたが必死に泳ぎました。スイムからバイクのトランジションでは急いで前を追わないといけないという気持ちで飛乗り、すぐ前にいる選手を追いました。なかなか追いつくことが出来ずに2周目に入り後続のバイクの強い選手達が集団でやってきました。ドラフティングしながらローテーションが上手く機能していたので一気にスピードも上がりました。ラスト1周を前に、集団が一気にペースアップした速さに反応できず離されてしまいました。まだま

だ力不足を感じました。離れた選手と私で、励ましあいながらバイクを終えました。ランでは、とにかく前を追うことだけに集中して走りました。広島頑張れー！ナイスラン！！たくさんの温かい応援が力になりました。なんとかランで追い上げてフィニッシュ！結果は14位でした。目標としていた10位以内には入れませんでした、今の自分の力を出し切れたレースでした。

監督の応援、両親の応援、米子から駆けつけてくれた方々の応援、男子選手の応援、たくさんの方々の応援が力になりました。本当にありがとうございました。

広島県代表で挑戦できたこと、広島県の方々をはじめ多くの方たちの温かい応援をいただきレースできたことは最高に幸せでした。また来年、広島県代表で挑戦できるように精進します！

広島県トライアスロン協会の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



ぎふ清流国体のレースレポート

原 智哉

レース結果：9位

試合前

福元監督にご無理を言い、前日入りをさせて頂きました。正直、久しぶりの大きな試合でしたので、緊張とわくわくの両方で心がいっぱいでした。

駅を降り監督にお会いしてから益々緊張しましたが、試合会場に到着してからは監督の心強さにいつの間にか緊張は無くなっていました。

監督のお陰でバイク・ウエットの規定があるなど、初めての体験でしたが落ち着いて対処ができました。

また、前日の公開練習など参加しなければならないところを、普段の自分のスタイルである、前日練習はしない！を貫き通させていただき、ペースを乱すことなく前日を終わることができました。

大会当日

【スイム】

初めてのスタート台からのスタートで、前日にイメージトレーニングしましたが、思ったよりもホイッスルの速さに驚きました。

少し出遅れた感じもしましたが、バトルが少なかったのも思ったよりうまく泳ぐことができました。ただ、斜めに泳いでしまいロスをしてしまったところに悔いが残っています。

2週目に入りペースアップしたかったのですが、集団になっていたのも無理せず少し余裕を持ちながら落ち着いて泳ぐことができました。

【バイク】

向かい風が強く、なかなか集団がうまく起動せずに7人集団でこいでいました。そのうち、スイムで30秒先の3人グループと合体して、10人前後の集団で2週目以降を迎えることになりました。

10人の内3~4人はなかなか前に出てくれず、中切れや戦闘回避などされてしまい、気持ちよく漕げませんでしたが、前の集団に徐々に追い付いていくことができ、「いけるいける」など声を掛け合って、前の集団を追いかけました。

向かい風は

37キロ、追い風は50キロペースでの集団走でした。

【ラン】

バイクのラスト1キロで中切れをされてしまい、パックから離れてしまった。かなりの痛手でしたが、ここで無理やり追い付くよりもランに足をためた方がいいと思い、追わずに落ち着いてランに備えてトランジットへ・・・意外とトランジットが速くできたので、5秒差くらいでランをスタートできました。

今回、吐くほど走ると決めていましたので、のっけからダッシュで走りました。同じ集団の人たちを300m以内で全員抜き去り、良いペースで走れていましたが、そんなに甘くはありませんでした。

だんだん苦しくなり、一人二人とバイクで同じ集団の人に抜かれ、付いて走ることもできず苦しい走りとなりました。正直、5キロくらいで止めたいくらい苦しかったです。踏ん張って走りました。

途中順位を数えていると10番・・・やっぱり一桁順位になりたい！と思い9位を追いましてラスト勝負は確実に分が悪いと思いましたので、ラスト1キロ地点で抜き少しずつ差を広げてラストスパート勝負にならないように耐えて走りました。

フィニッシュした際に監督の笑顔に包まれて、初めて達成感を感じました。本当に、大変貴重な体験をさせて頂き、関係者の皆様には大変感謝をしております。

個人的には、まだまだ上を目指してトライアスロンをしたいと意欲が湧いております。

この度は福元監督をはじめ県協会強化部の方々のご支援・協力いただき感謝しています。

この気持ちを忘れずに、今後も競技を続けていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

